廃プラスチックからアップサイクルされたサステナブルなアイウェア

Features ： 目薬容器がサングラスに、社内起業家プロジェクトから生まれた「eyeforthree」

ロート製薬の社内起業家支援プロジェクト「明日ニハ」の第１期プロジェクトに長岡里奈氏のアイデアが採択され、商品化に着手。パートナー企業と共に開発を進め、アイウェア「eyeforthree（アイフォースリー）」をリリースした。

目薬ボトルに求められる高い製造基準により廃棄ボトルが多くでていることを知った長岡氏はそれをもったいないと感じ、その廃プラスチックを有効活用して世界の人の健康につながる取り組みができないかと思ったのがきっかけ。ボトル成形時にでる端材や不良品を回収し、再生PET樹脂化し、目を護るサングラスのフレームへとアップサイクルした。資源循環させるため、混ぜ物や着色・塗装はせず、素材の色を活かした100%リサイクルにもこだわった。

Innovation ： 目を護るをコンセプトにラインナップを拡大、世界の「健康問題」にも貢献

2022年10月に、99%UVカットレンズを使い、サングラスとブルーライトカット眼鏡を商品化。翌年9月には、読書用の眼鏡型拡大鏡も加わり、商品ラインアップも拡大。現在、ECサイト、関西や首都圏の百貨店・専門店などで取り扱われている。

また、売上の10%にあたる収益をインドやその他諸国の貧困層の眼科健診や白内障の手術を行う団体への支援にあてている。

Future ： より多くの人びとの手に届けるために、アイウェア周りのアクセサリーへと展開

今後は、認知度を上げ広がりを持たせるため、アイウェア周りのメガネチェーン等のアクセサリーや眼鏡ケースも、廃プラスチックを利用して作っていきたいと考えている。

OUTLINE

『世界の健康問題と廃プラ問題を解決したい』自身のインドでの体験が開発の原動力となり、パートナー企業の力を動員しながら、価値をつくり、届ける。

VALUE

Find VALUE ～みつける～

学生時代のインドで直面した貧困層の健康問題、そして、ロート製薬で直面した廃プラスチック問題。廃プラスチックを有効活用して世界の人の健康につながる取り組みができないかと考えた。紫外線から目を護り、白内障の予防につながるサングラスづくりへとつながった。

Create VALUE ～つくる～

原材料開発は、リサイクル技術のノウハウを有する本多プラス株式会社と廃棄される容器や製造工程で生まれる端材をサングラスの原材料（再生PET樹脂）に加工。サングラスの製造は、高い技術力を有する山本光学株式会社が担い、2年以上の年月をかけて、長岡氏のアイデアを具現化していった。

Share VALUE ～つたえる～

パッケージは、株式会社アクト石原が担当。本製品でも説明書をなくし、直接パッケージに印刷するとともに、緩衝材なしで輸送に耐えられるよう設計するなど、ゴミをださないサスティナブルなコンセプトでパッケージング。「eyeforthree」に共感してくれるユーザーに受け入れられている。

（UVカット機能のある目薬ボトル）

（異物を取り除き、細かく粉砕）

（サスティナブルなパッケージ）

Player

アイフォースリー合同会社	アイウェア「eyeforthree」の企画・開発・販売。長岡氏が代表社員を務める
本多プラス株式会社	リサイクル技術のノウハウで、原材料（再生PET樹脂）への加工・製造
山本光学株式会社	リサイクル素材での高い加工技術でサングラスを製造
株式会社アクト石原	廃棄物を一切ださない工場を運営する包装資材メーカーでパッケージを共同開発
ロート製薬株式会社	社内起業家支援プロジェクト「明日ニハ」を運営。アイフォースリー合同会社にも出資。